

煌星（きらぼし）に夢と希望を託して

河内 陽成・小林 謙一・藤井 真理・濱田 仁嗣・田中 慎悟
(NPO 法人人と自然の会 星の会)

活動実績の一例

— 地域子ども教室推進事業 —

星座早見盤をつくろう

第94回ドリームスタジオ
NPO法人 人と自然の会(星の会)



あの光っている星ぼしは、どの星座か知っていますか。それがわかるグッズが星座早見盤です。
さあ、みんなで作ろう、自分だけの星座早見盤を！

☆ 日 時 平成17年2月20日(日) 13:00~15:00

★ 場 所 兵庫県立人と自然の博物館 4階
〒669-1544 三田市弥生が丘6丁目 電 (079)559-2003

☆ 対 象 小学生・中学生(保護者同伴可)

★ 参加費 無料 <入館料は別途必要です。>

☆ 定 員 材料がなくなるまで。お早めに！

— 子どもの居場所づくり事業 —

空を飛ぶグッズを作ろう

第89回ドリームスタジオ
NPO法人 人と自然の会(星の会)

PART1

空を飛ぶ物って、何か楽しいですよね。ペーパーなどで作れるいろんな空を飛ぶものを作ってみませんか。

熱気球も！

☆ 日 時 平成16年9月19日(日) 13:00 ~ 15:00

★ 場 所 兵庫県立人と自然の博物館 4階
〒669-1544 三田市弥生が丘6丁目 電 (079)559-2003

☆ 対 象 どなたでも

★ 参加費 無料 <入館料は別途必要です。>

☆ 定 員 材料がなくなるまで。お早めに！



「受 付」



地球の大きさを測ろう！

2003. 8. 16

NPO法人 人と自然の会

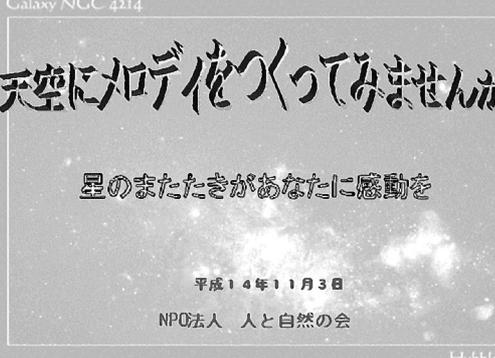
Galaxy NGC 4214

天空にロケットをつくってみませんか

星のまたたきがあなたに感動を

平成14年11月3日

NPO法人 人と自然の会



Hubble Heritage

(1) 「星の会」発足について

「星の会」は平成11年5月に16名で産声をあげました。人と自然の博物館には、星・天体関係の専門分野がないことから、有志でサークルを発足しました。自然系でありながら、星関係がないのはさびしい気がしたことがきっかけです。

(2) 目的

昨今の青少年の理数系離れに歯止めをかけるため、本来自然科学（星を通して）に内包する素晴らしさや楽しさを伝え、子供たちが興味をもてるようなイベントを実施し、

天文普及を図ることを目的とする。

と、堅苦しくいえばこうなります。ざっくりばらんに言えば、子供たちといっしょに星について、いろいろ楽しみましょう、ということです。子供たちばかりではなく、会員もいっしょに星のことを学びながら、楽しもうという狙いもあります。

(3) 課題

① 発足以来、年に2～3回主に星に関係するイベントを実施してきました。しかし、子供たちに対する天文普及という観点からすると、単発的であり継続な普及活動となっていないのが現状です。これからは、いかに継続的かつ体系的なイベントができるか、大きな課題です。

② 現在会員数が少ないこと。当初は、16名で発足しましたが、現在5名です。NPO人と自然の会じたいの会員数が減少していると共に、熟年化、高齢化が進んでいます・・・具体的にどうすれば？

③ 時間が足りない。原則、土・日曜日しか活動できないことは、初めからわかりきっていることなのですが・・・

(4) これからしたいこと

課題①で述べましたように、「継続的かつ体系的」なイベントを実施したいと考えています。天文スクールのような年間を通して、同じ子供と共に勉強していくのが、理想です。しかし、いっぺんにそこまで持つて行くには、現状では少し無理があります。

今年度(H18)は、とりあえず博物館のアースシアターをお借りして、「四季の星座案内」を年4回実施したいと考えています。理想にはほど遠いですが少しでも、理想に近づくために・・・